

志桜小だより



カラー版を
ご覧ください。

1月号②

学校ホームページ <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shiozze/>
学校メールアドレス web-shio@hodatsushimizu.jp

宝達志水町立志桜小学校
TEL 29-2052
FAX 29-2069

ホームページは
こちらから

校長 宮下 慶子

めざす児童像

- 目標をもち 自ら進んで学び よく考える知恵のある子
- 強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子
- 困難に打ちかつ気力・体力のある子



東大セミナー「深い学び講座」

～テーマは「認める」～

1月23日(金)、今年度最後の東大セミナーがありました。
今回のテーマは「認める。」

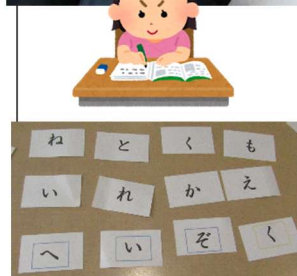
「自分のできないこと、分からないことを認める。そして、勉強とは、その自分が認めた分からないことを分かるようにすること。だから、予習が大切。」そして、その後の授業、復習の意味も教えていただきました。5・6年生は、チームの仲間と協力しながら、工夫を凝らした問題を一生懸命考えたり、話を聞いたりと集中していました。

「なぜ、学習しなければいけないのか」を改めて実感できるとてもよい機会となりました。

川本先生、今年度も本当にありがとうございました。



校内のお花より
by越野用務員さん



6年生

箔押し体験

1月21日(水)に、金沢市の「箔座」より、5名の講師さんをお招きして6年生は、金箔を使った箔押し体験に挑戦しました。

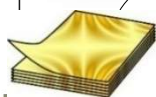
はじめに、箔座の講師さんから金箔についての講義を受けました。日本の金箔の100%が金沢産であることや金沢で箔づくりが栄えた理由など金箔に関するお話を聞いた6年生は、その奥深さに魅了されていました。

その後、いよいよ箔押し体験！「うさぎと月」と「ほっぴーさん」のデザインが描かれた色紙に0.0001mmというとても薄い金箔を乗せ、作業を開始しました。緊張した面持ちの6年生。慎重に慎重に、そして、**楽しみながらの貴重な体験**でした。



NHK

「かがのとイブニング」で紹介されました。



亀井先生！
急遽
金箔レクチャー



シリーズ 非認知能力

志桜小学校では
こども達の**非認知能力**を
大切に考えています。

近年の日本スポーツの躍進 その背景に**非認知能力**

僕から1こだけ。憧れるのを
やめましょう。＜中略＞
今日1日だけは、彼らへの憧れを
捨てて、勝つことだけを考えていきま
しょう。さあ！行こう！
by 大谷翔平選手

2023 年 WBC の決勝前、円
陣の声出しの際に、大谷翔平
選手がチームに伝えた言葉

非認知能力の専門家である中山芳一氏は著書の中で、左の大谷翔平選手のこの言葉からこう記しています。「何に驚かされるかといえ、この言葉の**熱量**もさることながら、**言語能力の高さ**です。多くの専門家たちが彼のこの言葉を分析しています。…

近年の日本の**スポーツ界**は、単にその競技ができる能力だけが重要なのではなく『**自分の思いを言葉にして伝えられる力**』も、そして『競技に向かう上での**忍耐力**や**向上心**』『仲間たちの中での**リーダーシップ**』といった**非認知能力**にも**重き**が置かれるようになってきました。それが、近年の日本のさまざまなスポーツの好調にもつながっているのではないのでしょうか。…（中略）…
そもそも**非認知能力**は、僕たちが何らかのことに臨むうえで『必要となる力』を**身に付けるための力**です。…」

『非認知能力の強化書』 中山芳一 著より」

1/30 なわとび集会に向けて 特訓中！

志桜っ子は、1月30日に行われる校内なわとび集会に向けて、体育の時間や長休みを中心に自分の記録に挑戦中です。「学年別生き残り競争」では、一人一人が、学年ごとの種目と秒数、目標回数に向けて練習を重ねています。

8の字ジャンプは、縦割り班と学年の赤白対抗です。長休みの縦割り班練習では、上学年が下学年の**背中を押して**あげたり、縄に入るタイミングを**アドバイス**したりする姿が見られ、どの班もぐんぐんレベルアップしています。とりわけ、1年生の8の字ジャンプの上達には感心させられます。当日は、自己ベスト目指してがんばりましょう！



「走り」の学校

1月26日（月）に、「走りの学校」講師の羽田真弓さんをお招きして4年生は「早く走るための技」を学びました。3つのポイントを教わり、先生のモデルとなるスプリントをまねしながらのあっというまの50分間でした。短時間に子ども達の「走り」がレベルアップ！今後も、今日の学びを意識してカッコよくできるだけ早く走れるといいですね。

4年生

できるだけ早く走る ポイント

- ①かかとを浮かせて走る。
- ②接地時間をできるだけ短くする。
- ③地面に着くまでの時間を意識し、膝を前へ出して重心を先へ送る。